

6 学習の展開

【第1時】

◎本時の目標

挿絵を使って話の流れを理解しよう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1.教室の外に出て雲の様子や動きについて話し合う。 雲の絵をスケッチして見せ合う。	○何に似ている雲がありますか。 ・クッキー ・ハート ・恐竜	◇雲の形から空想を広げさせ、発表できるようにする。 ☆雲の形から想像を広げ、意欲的に学習に取り組もうとしているか。
2.教室に戻り、教師の範読を聞いて話のあらすじをつかむ。	○登場人物は誰ですか。 ・1年2組の子供たち ・先生 ・くじらぐも	◇登場人物に着目させて範読を聞くようにする。 ◇ゆっくり読む。
3.黒板に貼られている挿絵を並び替える。	○どの順番になりますか。	◇事前に教科書の挿絵を印刷して黒板に貼る。 ☆話の流れを理解できているか。
4.場面分けをする。	○第1場面から第5場面まで、自分なりに分けてみよう。	◇時間があれば場面分けの答え合わせをする。時間がなければ、第1場面の確認のみで終了。

【第2時】

◎本時の目標

話の流れを理解し、実際に登場人物と同じ動きをしよう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1.前回の復習 挿絵を並び替える。	○どの順番になりますか。	◇前回同様、挿絵を印刷して黒板に貼る。 ☆前回の内容を理解できているか。
2.第1場面はどこからどこまでかチェックする。	○第1場面はどこからどこまでですか。 ・「四時間目のことです」～「すきなんだね。」まで。	◇隣の人と相談し合っても良い。
3.教師の音読に続いて全員で第1場面の音読をする。	○これはどんなお話ですか。 ・くじらぐもが出てくる話 ・体操の時間に起きた出来事	◇新出漢字を黒板に書く。 ☆書き順や読みが正しいか。

<p>3.くじらぐもとの出会いの様子を読み取る。</p>	<p>○これはいつの出来事ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4時間目 ・体操の時間 <p>○場所はどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動場 <p>○登場人物は誰ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年2組の子どもたち ・先生 ・くじらぐも（くものくじら） <p>○「空に大きなくじらがあらわれました」とはつまりどういうことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじらぐもが出てきた 	<p>◇「いつ、どこで、誰が」に着目せる。</p> <p>◇くじらを見たことがあるか聞く。</p> <p>もし見たことがある児童がいたら、どのような生き物か聞く。</p> <p>◇くじらの絵を描く。</p> <p>☆話の設定がわかっているか。</p>
<p>4.登場人物の行動を読み取るために、実際に動作化する。</p>	<p>○子どもたちとくじらぐもは何をしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじらぐもは、子どもたちの真似をしている。 ・体操 ・伸びたり縮んだり深呼吸したり。 ・かけあしで運動場を回る。 ・先生の笛の合図で止まる。 	<p>◇児童を半分に分け、教師は先生役、児童の半分は1年2組役、残りの半分はくじらぐも役で実際に教科書通りの動作をする。逆の役もさせる。</p> <p>◇「1年2組の子どもたちの動作をくじらぐもが真似している」ということに気づかせる。</p> <p>☆意欲的に活動しているか。</p>
<p>5.児童だけで第1場面を音読する。</p>	<p>○第1場面の音読で気をつけることは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操の掛け声「一、二、三、四」を元気よく読む。 	

【第3時】

◎本時の目標

子どもたちとくじらぐもの会話に着目しよう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1.前回の復習として、第1場面を全員で音読する。	○体操の掛け声「一、二、三、四」はどのように読みますか。 ・元気に読む。 ・明るく読む。	◇教師も児童の音読スピードに合わせて一緒に読む。
2.第2場面がどこからどこまでかチェックする。	○第2場面はどこからどこまでですか。 ・「みんなは、大きなこえで、」～「はりきりました。」まで。	◇隣の人と相談し合っても良しとする。
3.教師の音読に続いて全員で第2場面の音読をする。	○くじらぐもと子どもたちの会話はどんな特徴がありますか。 ・子どもたちがくじらぐもに言った言葉を、くじらぐもが真似している。	◇新出漢字を黒板に書く。 ☆書き順や読みが正しいか。
4.子どもたちの「おうい」とくじらぐもの「おうい」のセリフの違いについて考える。	○子どもたちの「おうい」とくじらぐもの「おうい」は何が違いますか。 〈子どもたち〉 ・元気いっぱい。 ・気づいてほしい。 ・声は高め。 ・手をブンブン振っているイメージ。 〈くじらぐも〉 ・気づいてくれたことが嬉しい。 ・優しい。 ・声は少し低め。	◇グループを作成する。(元々、各班編成がされている場合はそのグループで行う) ◇グループで話し合いをさせ、一人で悩むことを避ける。 ◇実際に様々な読み方をさせ、試行錯誤させる。 ☆意欲的に参加しているか。 ☆本文から想像している。
5. 子どもたちの「ここへおいでよう」とくじらぐもの「ここへおいでよう」のセリフの違いについて考える。	○子どもたちの「ここへおいでよう」とくじらぐもの「ここへおいでよう」は何が違いますか。 〈子どもたち〉 ・元気いっぱい。 ・一緒に体操したい。 ・声は高め。 ・体全部を使って手招きしているイメージ。 〈くじらぐも〉 ・子どもたちに誘われたのが嬉しい。 ・体操を一緒にして楽しかったから、そのお礼をしたい。	◇グループを作成する。(元々、各班編成がされている場合はそのグループで行う) ◇グループで話し合いをさせ、一人で悩むことを避ける。 ◇実際に様々な読み方をさせ、試行錯誤させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい。 ・声は少し低め。 	
6.グループ活動で出た意見を発表する。	○各グループどのような意見が出ましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ☆他の人の発表をきちんと聞いているか。 ☆意見をわかりやすく伝えることができるか。
7.児童だけで第2場面を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ○第2場面の音読で気をつけることは何ですか。 ・子どもたちとくじらぐもの会話の音読に変化をつけること。 	☆今日の授業が理解できているか。

【第4時】

◎本時の目標

子どもたちがくじらぐものに飛び乗る様子を読み取ろう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1.前回の復習として、第2場面を全員で音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ○会話文を音読するときには注意することは何ですか。 ・くじらぐもと子どもたちの会話文は声を変える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇教師も児童の音読スピードに合わせて一緒に読む。 ◇会話文の読み方に注意させながら読む。 ☆前回の内容を理解できているか。
2.第3場面がどこからどこまでかチェックする。	<ul style="list-style-type: none"> ○第3場面はどこからどこまでですか。 ・「みんなは、手をつないで、」～「くじらにのっていました」まで。 	◇隣の人と話し合ってもよしとする。
3.教師の音読に続いて全員で第3場面の音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○誰が何をしていますか。 ・子どもたちと先生が空にジャンプ 	◇誰が何をしたかを確認しながら読むように声をかける。

	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじらぐもが応援している。 	
<p>4.1回目と2回目の「天までとどけ、一、二、三」の様子について全体で話し合う。</p>	<p>○このジャンプで届いたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ届かない。 ・三十センチ、五十センチだけしか飛んでいない。 <p>○届かなかった子どもたちはどんな気持ちになったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悔しい。 ・これしか飛べなかった。 ・次こそ届きたい。 	<p>◇やりたいことがなかなかできなかったときの経験を思い出させるような声かけをする。</p> <p>◇三十センチ、五十センチは一体どれくらいの高さなのか、事前にそれらに相対する物を準備し視覚的に見せる。</p> <p>◇児童を半分に分け、半分はくじらぐも役、残りの半分は子どもたち役、教師は地の文を音読する。</p> <p>☆登場人物の心情を読み取れているか。</p> <p>☆自分が想像したことを動作化や音読で表現しているか。</p>
<p>5.3回目の「天までとどけ、一、二、三」の様子を想像して、隣の人とどう音読を工夫するか話し合う。</p>	<p>○3回目もさっきと同じセリフですが、読み方も同じでいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきより大きな声で読む。 ・さっきよりゆっくり読む。 <p>○このときに子どもたちはどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度こそは届くように飛びたい。 ・絶対届いてみせる。 	<p>◇工夫の根拠も答えさせる。</p> <p>◇これまでのジャンプの時と比べられるようにする。</p> <p>◇児童を半分に分け、半分はくじらぐも役、残りの半分は子どもたち役、教師は地の文を音読する。</p> <p>☆自分が想像したことを話しているか。</p>
<p>6.くじらぐもの気持ちを読み取る。</p>	<p>○応援しているときのくじらぐもはどのような気持ちや様子だったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばれ！ ・惜しいなあ。 ・届いたらいいなと期待。 <p>○届いたときはどのような気持ちや様子だったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嬉しい。 ・ハッピー！ ・風に感謝している。 	<p>◇子どもたちの視点だけではなく、くじらぐもの視点にもなって考えるように声をかける。</p> <p>☆自分が想像したことを話しているか。</p> <p>☆視点を変えて物事を考えられるか。</p>
<p>7.児童だけで第3場面を音読する。 (時間がなければ次回にまわす)</p>	<p>○第3場面で気を付けることは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「天までとどけ、一、二、三」の読み方を変えていく。 	<p>☆今日の授業を理解できているか。</p>

【第5時】

◎本時の目標

言葉から様子を連想したり会話を想像してみよう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問（○）と予想される児童の反応	指導上の留意点（◇） 評価（☆）
1.前回の復習として、第3場面を全員で音読する。	○1回目2回目の「天までとどけ、一、二、三」と3回目の「天までとどけ、一、二、三」の読み方はどう違うか。 ・だんだん声を大きくする。 ・1回目と2回目に比べて3回目はゆっくり読む。	◇教師は児童の音読を聞くだけで一緒には読まない。 ☆前回の内容を理解できているか。
2.第4場面がどこからどこまでかチェックする。	○第4場面はどこからどこまでですか。 ・「さあ、およぐぞ」～「どこまでもつづきます」まで。	◇隣の人と話し合っても良しとする。
3.教師の音読に続いて全員で第4場面の音読をする。	○第4場面はどのような場面でしょうか。	◇誰が何をしているのかに着目するように声をかける。
4.第4場面の「およぐ」や「あお」は何を表しているか考える。	○「さあ、およぐぞ」とは誰がどうすることですか。 〈誰〉 ・くじらぐも 〈どうする〉 ・動く。 ・移動する。 ・進む。 ○ここでの「あお」は何を表していますか。 ・空 ・海 ○先ほどの質問に海という意見が出ましたがなぜ海だと思いましたか？ ・海も青いから。 ・「およぐ」という言葉から海を想像できるから。	◇全員で縛りなしの連想ゲームをする。 ◇連想ゲームの後に、「およぐ」や「あお」に関する連想をさせる。 ☆自分の考えを発表しているか。 ☆連想ゲームに意欲的に参加しているか。

5.登場人物の会話を想像する。	○あなたが子どもたちやくじらぐも だったらどんな会話をしますか。 〈くじらぐも〉 ・「見てごらん、これがみんなの住ん でいる町だよ」 ・「すごくきれいな景色だろう」 〈子どもたち〉 ・「わあーすごい」 ・「あんなに人が小さく見える！」	◇吹き出し付きのワークシートを配 布する。(授業後に集める) ◇隣の人と役割を決めて、各々で会 話文を考えさせる。 ☆交流したことをもとに、自分の読 みを深めているか。 ☆登場人物の会話を想像し自分の言 葉で伝えようとしているか。
6.児童だけで第4場면을音読する。	○第4場面で気を付けることは何で すか。 ・くじらぐもと子どもたちの会話を 想像して楽しく元気よく読む。	☆今日の授業を理解できているか。

【第6時】

◎本時の目標

これまでのくじらぐもとの学習を振り返ろう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される 児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1.前回の復習として、第4場면을全 員で音読する。	○くじらぐもと子どもたちはどのよ うな気持ちですか。 ・楽しい。 ・ずっと乗っていたい。	◇教師も児童の音読スピードに合わ せて一緒に読む。 ☆前回の内容を理解できているか。
2.第5場面がどこからどこまでかチ ェックする。	○第5場面はどこからどこまでです か。 ・「おや、もう」～「かえっていきま した」まで。	◇隣の人と話し合っても良しとす る。
3.教師の音読に続いて全員で第5場 面の音読をする。	○この段落はくじらぐもと子どもた ちのどのような場面を表しています か。 ・時間になったので帰る場面。 ・くじらぐもと子どもたちのお別れ の場面。	◇誰が何をしたかを確認しながら読 むように声をかける。 ☆話の流れを理解できているか。
4.第1場面から丸読みをする。	○会話文の読み方に注意しましよ う。 ○漢字の読みや発音を正確にしまし よう。	◇これまでの授業で学んできたこと を思い出しながら音読させる。 ☆地の文と会話文の読み方の違いを 理解し実践しているか。

<p>5.これまでのくじらぐもとの時間を振り返って手紙を書く。</p>	<p>○あなたが1年2組の子どもたちだったら、くじらぐもに何を伝えたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう。 ・楽しかった！ ・もっと乗っていたかったなあ。 ・また乗せてね。 ・また会おうね。 	<p>◇ワークシートを配布し手紙をかいでもらう。(授業後に集める)</p> <p>◇巡回して、手紙がなかなか書けていない児童へアドバイスをする。</p> <p>◇話を思い出せるように第1時で使った挿絵を黒板に貼る。</p> <p>☆自分の考えを文章にできるか。</p> <p>☆話の流れを正確に理解できているか。</p> <p>※次回クレヨンか色鉛筆を使うのもってくるように声をかける。</p>
-------------------------------------	---	---

【第7時】

◎本時の目標

登場人物になりきって絵日記を書こう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
<p>1.今までの授業の振り返りとして、第1場面から丸読みをする。</p>	<p>○会話文の読み方に注意しましょう。</p>	<p>◇これまでの授業で学んできたことを思い出しながら音読させる。</p> <p>☆地の文と会話文の読み方の違いを理解し実践しているか。</p>
<p>2.1日の出来事を登場人物になったつもりで絵日記を書く。</p>	<p>○一番心に残った場面はどこですか。その場面の絵をかきましょう。</p>	<p>◇必ず入れてほしい日記の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間 ・登場人物 ・何をしたか ・それに対して何を思ったか、伝えたいか <p>◇例として、簡易絵日記を板書する。</p> <p>◇巡回をして、なかなかかけていない子にアドバイスする。</p> <p>☆登場人物になりきれているか。</p> <p>☆伝えたいことが明確か。</p> <p>☆習った漢字を使っているか。</p>
<p>3.隣の人と絵日記を見せ合う。</p>	<p>○登場人物の誰になってかきましたか。また、それはどこの場面ですか。</p> <p>○発表者の良かったところはどこですか。</p>	<p>◇巡回をして、どんな意見にも拍手する。褒める。</p> <p>☆自分の意見を伝えられているか。</p> <p>☆相手の発表を聞いて拍手しているか、認めているか。</p>

【第8時・第9時】

◎本時の目標

音読発表会に向けて練習をしよう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1. 近くの人と4～5人のグループを作る。(班編成されていればその班を活用する)	<p>○今回と次回を使って、音読の練習をします。そして、次々回は音読会を開きます。</p> <p>○そこで、どの場面を音読するか今から話し合い、役割分担をして練習をして下さい。</p>	<p>◇音読シートを配布する。(授業後に集める)</p> <p>◇登場人物やその動作を踏まえて音読するように声をかける。</p> <p>◇これまでの授業で学んできたことを思い出しながら音読させる。</p> <p>☆地の文と会話文の読み方の違いを理解し実践しているか。</p> <p>☆話し合いがうまくできているか。</p> <p>☆グループ内で意見を交わしているか。</p>

【第10時】

◎本時の目標

音読発表会で『くじらぐも』のまとめをしよう。

◎展開

学習活動・学習内容	主な発問 (○) と予想される児童の反応	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
1. 音読発表会	<p>○発表の始めと終わりの挨拶をしましょう。</p> <p>○発表が終わったらグループには全員で必ず拍手しましょう。</p>	<p>◇集めていた音読シートにコメントを書いて各グループに返却する。</p> <p>◇セリフの長短に関わらず、短いセリフでも心を込めて音読している様子を褒める。</p> <p>☆発表を聞きお互いの良いところを認め合っているか。</p> <p>☆楽しく音読しているか。</p> <p>☆今まで学んできた内容を理解できているか。</p>
2. 授業や音読発表会を通しての感想を書いて提出。	<p>○何が分かるようになりましたか。</p> <p>○音読をしてどう思いましたか。</p>	<p>◇感想ペーパーを配布し、授業後に集める。次回の授業で返却する。</p> <p>☆今までのまとめを自分の言葉で伝えることができるか。</p>

